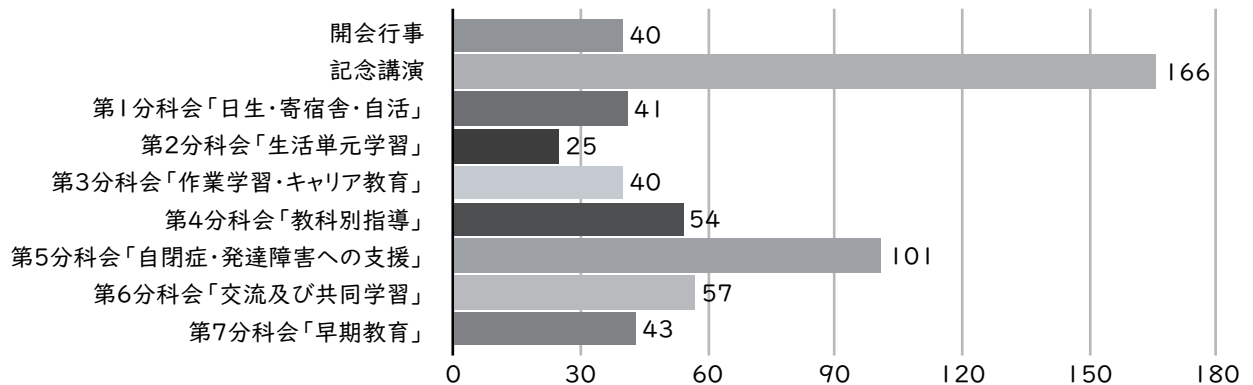


# 令和3年度 第49回研究大会 レポート

## 1. 事前参加申し込み 567件 (Microsoft Forms)

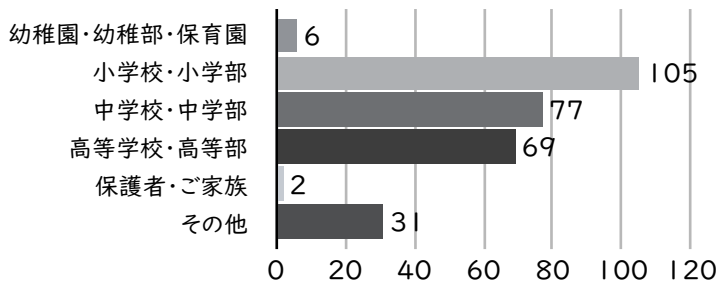


## 2. 当日の参加者 342名 (Zoomレポート、校外のオンライン参加者数)

## 3. オンデマンド配信ページ 閲覧数 1,292 利用者数 420 (Google Analytics、期間：12/4-1/25)

## 4. アンケート結果 (回答数61、期間：12/17-1/25)

### (1) 所属

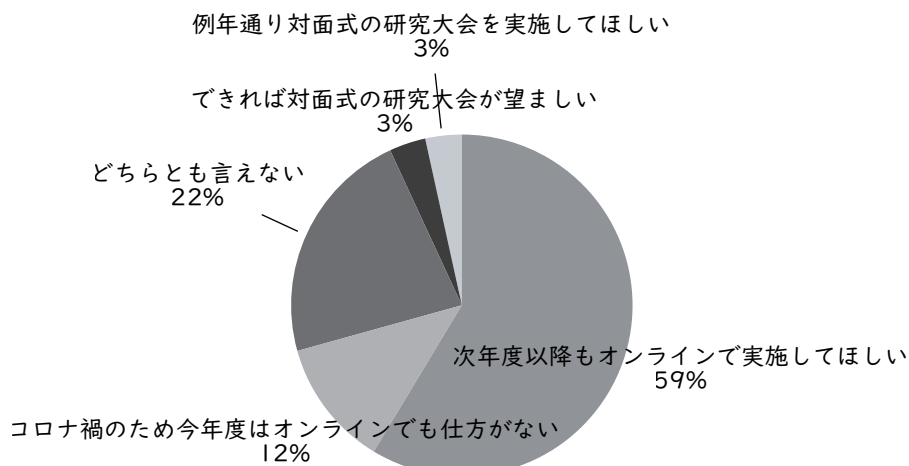


### (2) 満足度

平均評価 4.28/5



### (3) オンラインでの実施について



#### (4) 前の質問でそのように答えた理由

##### ① 「次年度以降もオンラインで実施してほしい」

- ・スケジュールを調整しやすいこと。
- ・オンデマンド配信によって後からでも確実に見ることができること。
- ・学校外に出なくても、研究会に参加できるのはありがたいです。
- ・移動の手間がなく、参加しやすい。わからないことを調べることもできるので便利。
- ・教室で生徒に課題を与えながら、会議に参加できるので良かったです。ガソリン代の節約にもなるし、駐車場の確保も大変だろうし、今後はオンラインでできることは、どんどんやっていくべきじゃないですか！ 準備をなさった先生方、大変なご苦労があったかと思いますが、おかげさまで素晴らしい分科会を持つことができたと思います。ありがとうございました！
- ・学校にしながら必要とする研修が受講できる。
- ・移動の距離がない分、参加しやすいです。
- ・離島校のため、沖縄本島開催だと参加が難しくなるから。
- ・離島なので参加しやすかったです。
- ・学級をあげて参加すると1～2時間が限界。オンラインだと移動時間がいらないので参加しやすい。
- ・例年通り、会場に集まるの研究会の開催もしつつ、また、今回のようにオンラインでも視聴できるようにしていただけると、一時的に業務を離れて講演会に参加することもでき嬉しいです。
- ・開催場所までの距離、時間、移動等の確保が難しい
- ・記念講演には申し込んでいましたが、授業も持ち時数が多く分科会に参加したくても無理かなと思い申し込みできませんでした。しかし空きの時間に分科会①に参加でき視聴できてラッキーでした。出張だと確実に参加できませんでした。次年度もオンラインがありがたいです。オンデマンドで各分科会も視聴できたらありがたいです。
- ・自由に自分の持ち授業に応じて、参加・退席できるので、よいと思う。
- ・参加しやすいと感じました。
- ・勤務校の時間割調整が難しく、支援学級所属の生徒がクールダウンしたい時に対応できる職員がいないため、教室から参加できてとても助かったからです。
- ・学校にしながら研修を受けることができたので、合間に学級にも戻り、担当児童の様子を見たりすることができたので、とてもよかったです。
- ・移動の時間ロスもなく、参加できるのでギリギリまで生徒と関わることができるので、とても助かります。
- ・業務の兼ね合いで対面式では参加が難しい場合もあるので、オンラインで開催していただけると参加しやすいと思いました。また、オンデマンドで直接参加できなかった分科会を後日視聴できる点もオンラインならではのメリットだと考えます。
- ・平日開催なので、オンラインであれば、授業の補充や、移動時間などを気にすることが減り、参加しやすい。
- ・じっくり視聴できました。
- ・新しい情報を得る機会であること、県内の実践を学べる県内最大の研究会であるので、事務局は大変だと思いますが、継続していただきたい研究会です。
- ・移動の負担が少ないため。
- ・対面よりオンラインがよい。会場への移動時間など取れないが、オンラインで行うことで当日参加や、オンデマンド配信などがあると、参加していない分科会も聞けるのであれば、さらに学びを深めることができるので。
- ・会場移動への時間がかからない。
- ・オンラインの方が、映像や音声がはっきりしている。
- ・なかなか休みをもらって参加するのが難しいが、校内で参加できたので良かった。話が聞きやすく、資料も見やすい。のちにオンデマンドで見直しができたり、他の分科会も見ることができる。
- ・途中からでも参加できるようになってよかった。
- ・オンラインでも話していることが伝わる。
- ・授業を抜ける時間が少なく参加しやすい。
- ・離島からだに参加できる職員数に限りがあるため（学校で開かれる研究会のように、授業の見学や校内の雰囲気など、直接でしか味わえないものがあれば参加という形も良いと思います）
- ・他の研修が重なった場合でも発表が聴けるといいと思います。申込制にして、後で期間限定のオンデマンド配信をしていただけるといいと思います。
- ・移動の負担がないので、細かい時間の利用ができる
- ・移動時間が無く便利。
- ・移動時間がない分、校内で時間調整をし、色々な分科会に参加できたのが良い。

##### ② 「コロナ禍のため今年度はオンラインでも仕方がない」

- ・直接話のできる対面式の研究会の方がいいけれど、コロナ感染予防のためにはオンライン開催でもいいと思います。ただ、今後コロナの沈静化が進むならば本来の対面式大会の実施を望みます。
- ・できれば対面式が望ましいですが、今年度に限っては、コロナ禍もあり、オンラインに賛成です。
- ・従来通りの対面式ができればよかったですね。感染症対策としては、オンラインは正解だと思います。また、感染症対策に関係なく、オンラインでの開催については、会場に参加できない状況でも参加ができるという利点がありました。録画での視聴が今後可能なら、多くの関係者に発信して録画視聴をさせていただきたいです。
- ・特別支援教育に関わる先生方と互いに顔が見える形での研究会を望みますが、この状況では仕方がない。また、オンラインでもできるんだとも感じた。

### ③ 「どちらとも言えない」

- 今回、初めての参加なのでオンラインでの実施しか経験がないので比較ができないのですが、あと学校にもよると思うのですが、当日、子どもを迎えて、途中で抜けて、報告し、報告が終わるとまたすぐ学級にもどらないと行けないという状況でしたので、提案者や司会者等はなかなかハードなのかなと思いました。各学校で対応等は変わってくると思いますが、それがもし当たり前であればこの意見は無かったことにしてください。
- 会場で関係職員間でコミュニケーションをとって情報交換や共有し、講演を拝聴できればという考えと、気軽にオンライン拝聴できるメリットを考えるとどちらとも言えない。
- 今回は都合により、記念講演のみへの参加とさせていただきます。ありがとうございました。
- 今後は、対面式での研究会・講話とオンラインでの実施のハイブリッドで行っていただくと有り難いです。対面式の場合、その場にいることによって協議も活発になりより研究が深まるかと思います。一方で、オンラインで配信いただくと、遠方からの参加であったり、実際に会場へ参加出来ない場合にも、貴重な情報が得られる機会となります。
- 事務局の運営は大変かと思いますが、オンライン（ライブとオンデマンド配信）の両方をお願いしたいです。
- メリット：行事で職員の少ない中、補充対応が厳しかったが、オンラインだと話がギリギリまで聞けたのでよかった。
- デメリット：パソコンがあまり得意ではないので、トラブルになった時あせってしまう。
- 今回初めて、研究大会に参加しました。コロナ禍であることもあり、オンラインでの開催は助かりました。平日ということで、受け持っている子どもたちの実態から、協力学級に一日預けての対面式での研究大会には参加が厳しい状況です。なので、どちらとも言えないと答えました。
- 今回、はじめての参加だったため、比較がしにくいですが、ただ、オンラインだと、移動に時間がかからないため、離島からの参加がしやすかったです。
- 視聴者側は慣れない道に行く必要も無く、オンラインでも分かりやすい話が多かったから。ただ、停電等の心配や機器に不安があるので、発表者側は大変だと思います。
- オンラインは移動がないなど長所はたくさんある。しかし今回、予想外の停電が起きると対応が困難なため。
- 対面では、会の後でもいくつか質問ができる。オンラインではスライド等の資料が見やすく、発表者の声が聞きやすい（ヘッドセットの場合）など、それぞれの場合でのメリットもあるが、遠距離の場合の移動や今回の停電のように不足の事態での対応に不安がある。
- 記録用だとは思いますが、各プログラムで録画をしているので、一定の期間を決めて視聴可能なアーカイブとして再度見直しができる嬉しい。
- オンラインでも良いと思うが、研究授業も見たいなと感じました。
- オンライン配信では多くの方が参加しやすく、プレゼン資料も間近で見やすく集中しやすいのですが、質問がしにくいかもしれません。質問を事前に受け付けておくとかもあり得るのでしょうか。
- 今回は、コロナウィルス感染防止対応の為、オンライン開催であったが、事務局が対面式と比べ負担感の度合いは分からないので、どちらともいえない。参加（視聴）する人にとっては、オンラインは助かるのかな・・・せっかくやるのであれば、対面式が望ましいかな（分科会等での質疑応答が増えるかな）
- 今回の停電の件や顔を見えない中での発表や司会はどうなんだろう？と思ったので…対面式でのメリット、オンラインでのメリットがあるのでどちらとも言えないです。

### ④ 「できれば対面式の研究大会が望ましい」

- オンライン開催は学校にいながら参加できるため、その点ではとても良い。参加しやすくなった。反面、やはり対面の方が話が頭に入ってきやすいと感じる。
- コロナ禍なので今の状況ではベストな方法だと思います。でも、もし社会情勢が落ち着けば、参加者のみなさんの表情等も見ながら発表できればとも思います。

### ⑤ 「例年通り対面式の研究大会を実施してほしい」

- 自分もそうなんですがパソコン操作が苦手なので。対面式のほうが細かなニュアンス等がわかると思います。
- 研究を提案された先生方に、質疑をしたい。さらに直接、感謝と賞賛を述べたい。

## (5) ご質問・ご感想

### ① ご質問と回答

- ・運営お疲れ様でした。九特研と同じ報告時間にすることは可能でしょうか？または、報告時間を15分から20分程度と幅を持たせる等。オンラインで実施していただいたことや、報告する場を設けてくれたこと、すごく感謝しております。本当にありがとうございました。
- ・今回、発表の内容は良かったが…幼稚部の入試業務(願書受付日・判定会議)の日にリハーサルがあり、しっかりした打ち合わせもできないまま当日を迎えても不安でした。今後は、県の入試等の日程も考慮して行って欲しい。  
→ 貴重なご意見をありがとうございます。しっかりと引き継ぎ、次年度以降の大会運営の参考にいたします
- ・停電というトラブルへの対応も含めて、お疲れ様でした。大変勉強になりました。例年のように、要項などは冊子として今後配布の予定はありますか？(資料として学校用で保管したいので)なければ、データでいただいているので校内にてファイル化して保管します。  
→ 今年度は大会要項の一部と分科会の記録等をまとめ、大会集録として冊子を作成いたします。例年、参加費を徴収した上で参加者へ冊子を配布しておりますが、今年度は参加費の設定がないため、参加者の皆様には後日ホームページを通してPDFファイルにて配布予定です
- ・記念講演に関して、分藤視学官に質問です。教育支援申請において通級指導教室を希望しても、地域の学校に通級指導教室が設置されていない場合、通常学級や支援学級に配置されることがあります。今日の講演の中で「一人一人の教育的ニーズに最も確に応える指導を提供できるように」とありますが、現状としてはニーズに適切に応えられていないように感じています。診断や発達特性等により通級指導教室が適切と思われる子どもが増えつつある中で、通級指導教室設置へのハードルが高い印象を持っています。支援学級(知的や情緒)のように公立学校に全校配置ということは難しいのでしょうか？この件について分藤視学官の考えや今後の方向性について具体的に教えていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。  
→ 通級による指導の教員配置については平成29年度の法改正により基礎定数化されており、沖縄県教育委員会の学校人事課もこれに従って通級による指導(通級指導教室)の設置を行っています。各学校においては、通級による指導が必要であるとされた児童生徒数とその実態を踏まえて申請を繰り返す必要があるかと思えます。
- ・大変ためになりました。準備・発表・運営等、多くの先生方に感謝します。ありがとうございました。オンデマンドで視聴できるのを楽しみにしています。次年度からの高等支援学校の入試改革が突然行われることになり、中学校や小学校の支援担当の先生方は困惑しています。何か現場のリサーチがあったのか、決定までのプロセスも見えずに従うことに違和感があります。こういう問題について、話し合ったり、意見を出し合ったりする場はないのでしょうか？研究大会とは違う問題かもしれませんが、研究会で県に意見することは、できないのでしょうか？入試改革担当は、知的障害や特別支援教育のことを知らない人がやっているのしか思えません。改革が必要な理由が、現場の声ではないように思います。改革が必要ななら、現場を混乱させるのではなく、段階を踏んでやって欲しいと思います。研究会で、現場の声を届けて欲しいです。  
→ 本事業の背景には、特別支援学校の高等部および高等支援学校の生徒数の増加と実態の変化があるようです。沖縄県教育委員会では、当初の説明から中学校等の意見を聴取し、実施時期については令和7年度を見込んでいるとの情報があります。今後も教育委員会からの情報を収集し、適切な進路指導に尽力することが求められます。
- ・小学校でも取り組めるエッセンスをいただきました。製作学習(ベンチづくり)やプログラミングの話がとても興味深いものがありました。質問! 自尊感情測定(東京版)アプリもしくはFormsがあるといいな一と思っておりますが、作られていますか？  
→ お調べしましたが、インターネット上には公開されていないようです

### ② ご感想

- ・提案者の皆様お疲れ様でした。
- ・このような状況の中でも研修や大会を開催していただき、ありがとうございます。
- ・とても勉強になりました。
- ・わかりやすい講義ありがとうございました。
- ・発表の先生方お疲れ様でした。まとめ方もわかりやすく参考になりました。ありがとうございました。
- ・本校でも、実践できそうな内容もあり、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・運営、係の先生方、トラブルがあったにも関わらず、素晴らしい大会、本当に本当にお疲れ様でした。
- ・普段聞けない校種の先生の話が聞くことができ、よかった。運営の先生方、お疲れ様でした。
- ・とても参考になる実践報告で、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・離島校ですが、講演会を聞く機会を頂きありがとうございました。たいへん良い講演を聴くことができました。
- ・オンデマンドは再生速度が選択できるので、時間を短縮して多くの動画を視聴することができました。
- ・小・中学校での取り組みについてあまり知る機会がないので、とてもよかったです。
- ・日々の業務を振り返り、確認し、さらに学びの多い研修会でした。感謝申し上げます。
- ・学校見学と授業見学ができないのは残念だったが、オンライン開催でも十分な研修の機会と感じた。
- ・Zoomの音声かぎれて最後まで聞きたかったです。11:30~12:00の間、停電していたことで仕方がないのですが…
- ・急な停電のアクシデントはありましたが、前準備から当日の運営等、とても丁寧な対応で助かりました。
- ・記念講演の内容がむずかしく感じました。
- ・移行期における進学時の引き継ぎも重要なポイントであるので気をつけて取り扱っていきたい。

- ・途中児童の対応で席を外した時間もあって、全部は参加できませんでしたが、二件の実践報告をお聞きして、子どもたちが進んで学習に取り組む様子がすばらしいと感じました。私自身も、今後、活動を交えた学習を増やし、子どもたちが生き生きと学習できる場を作りたいと思います。
- ・第1分科会「日常生活の指導・寄宿舎指導・自立活動」のみの参加になりましたが、両者とも素晴らしい実践発表で、自己肯定感を高めるために様々な工夫がありました。寄宿舎の取り組み「二週間目標」や作業の中から教科に繋げていく例など、小学校でも参考にできるところがたくさんあると感じました。この時期で、担任が参加できなかったのですが、今回の実践を紹介しながら、自立活動について考えていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・第1分科会の司会担当させていただきましたが、当初、前半の司会を担当なさる予定だった先生が、機器のトラブルで対応できずに、急遽、こちらで対応することとなりました。各学校、ネット環境などの状況が違うかと思いますが、確実な会議環境の確認が課題になるかと感じました。とりあえず、司会が2名いて良かったです。
- ・令和5年度、発表校に当たるということで、視聴しました。すごく勉強になりました。八重山地区の発表では、課題を把握→要因は何か→考察→検証と、一人一人をしっかり見て、できることを増やしていく。その具体的な取り組み方も明確でした。大変参考になりました。金武中の発表も、一つの取り組みを、地域につなげていく、きっと子供達の自信につながったと思います。両校とも素晴らしい発表でした。ありがとうございます。
- ・通級や特別支援学級の状況、また、今後の在り方等について確認させていただきました。また、各教科の視点でもって、特別支援学校の教育課程が編成されることの重要性について、再確認させていただきました。御講話ありがとうございました。事務局の先生方もお疲れ様でした。
- ・分藤先生のお話分かりやすく勉強になりました。私も市町村の就学支援委員会に参加しております。学びの場を考える大切な会議であります。どのような子が支援学校の対象なのか、支援学級対象の子なのかなど、委員会のメンバーのとらえ方がまちまちであります。就学支援に携わるメンバーは「障害のある子供の教育支援の手引き」「756号通知」を熟読する必要性を強く感じました。
- ・分科会のみの参加になりましたが、とても参考になりました。記念講演や他の分科会については、添付されていた資料を読んでいきたいと思っています。また、子供たちの実態に応じて、実践できるものは参考にさせていただきたいと思っています。
- ・私は知的・複式学級担任です。在籍生徒には中度知的の生徒さんから小学校は情緒学級で過ごした子、IQが高く療育手帳がとれない子も在籍しており、特別支援学校と高等学校入試に向けての教科指導など生徒の多様な進路選択に合わせたの指導に毎日苦戦しています。教育課程編成についても頭をかかえ、在籍生徒男子8人でその中には問題傾向の生徒もおり私の更年期障害も重なりヒステリックな日々を過ごしています。この研修において先生方の実践報告書にうなづきながら目を通し自分の情緒を整え、また頑張ろうと思えました。生徒の自立や社会参加に向けてこの子たちが将来笑顔で過ごせるよう今の学習が実生活で生かせるよう地道に計画をたて、粘り強く指導支援を継続していきたいです。分科会がオンデマンドで視聴できたならありがたいです。実践報告をしてくださった先生方、講演をしてくださった分藤視学官、事務局の先生方のおかげで有意義な研修となりました。本当にありがとうございました。
- ・お二人の先生の実践発表とても素晴らしかったです。大変お疲れさまでした。自分の学級でも取り組んでみたいと思います。簡単には行かないと思いますがチャレンジしてみます。
- ・運営や発表者の先生方、お疲れ様でした。他校の特別支援学級間の交流を考えていた中での実践報告、とても参考になりました。
- ・お疲れ様でした。講演の内容は、たしかに私たちに必要な内容ですが、私たちの困り感が解決しない気がした。また、分科会も限定されていたので、他の分科会に参加したい気持ちもあった。
- ・初めてこのような大会に参加しました。とても、自身の学びが多く、職員へ還元したいと思います。事務局の皆さま、発表された先生方に感謝しています。ありがとうございました。
- ・第6分科会に参加させて頂きました。支援学級の生徒の交流学級の生徒に対する自己有用感が感じられず、道徳の授業を通じて試行錯誤している中だったので、多くの示唆を頂きました。ありがとうございました。
- ・早期教育の分科会に参加しました。2本の提案はどれも子どもたち、一人ひとりを大切にしている実践であり、自分自身の実践を振り返る機会となりました。特に保育園の発表の中から、チームで支援する支援学校にも大きな示唆となり勉強になりました。指導助言の達子校長から、子どもへの問いかける言葉のかけ方や自己肯定感は幼児期に育てるという助言が心に残りました。
- ・各校の提案がとても勉強になりました。参加できなかった分科会の資料も添付されているため、後日確認し、今後の実践の参考にしたいと思います。
- ・停電があったということでしたが、無事に最後までできて良かったです。運営に係わった先生方、ありがとうございました。分科会提案や講演会、指導助言など、他校の実践を学ぶことができ刺激を受けたり、多くの学びを得ました。
- ・各分科会の発表は、大変勉強になりました。本校でも抱えている課題や悩みでもあったので、校内で共有し今後の指導に役立てていきたいと思いました。記念講演は、少々、難しかったです。できましたら、他県での取り組みなど具体的な事例の対処方法など教えていただきたいかったです。
- ・文科省の先生の話は聞く機会がなかなかなく、新しい情報や流れなど詳しく聞くことができ、大変貴重でした。ありがとうございました。
- ・事前の準備から大変だったと思います。その上、急な停電トラブルへの対応など、事務局のみなさまお疲れ様です。お陰で学びの多い研究大会になりました。オンデマンド配信もとても助かります。本日参加できなかった分科会も後日視聴し、学ばせていただきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・オンラインではありましたが、自分にとっては多くのことが勉強になり、今後の指導に生かせる内容でした。提案された先生や準備運営された先生方ありがとうございました。
- ・当日のハプニング等もあり、大変だったと思いますが、いつも丁寧に回答くださり、安心して発表に臨むことができました。事務局の先生方をはじめ、関係者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです！ありがとうございました！！